令 和 ９ 年 度

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科
生命医療科学専攻（博士前期課程）

学 生 募 集 要 項

（２次募集）

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科
生命医療科学専攻博士前期課程　アドミッション・ポリシー

ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、以下のような学生の入学を求める。

① 先端的な医科学・薬科学の優れた知識と見識、高い倫理観、課題解決のための能力を身に付けたい人

② 医科学・薬科学統合領域の専門知識や分野横断的な考察力により、医療の多種多様な課題を発見し、その解決に精力的に取り組み、地域に軸足を置いて活動したい人

③ リサーチマインドを持った専門職医療人、共同研究や医療チームを支える重要な一員として、地域保健医療を積極的に推進したい人

④ 医療分野において、医療機関、企業等に勤める社会人としてキャリアアップを図り、研究・臨床活動を適切に実践し、社会貢献したい人

⑤ 本専攻課程での学修の基盤となる、医科学・薬科学の基礎的知識や研究能力、考察力、コミュニケーション力や英語力を持ち、主体的・協働的に研究に打ち込む態度を有する人

※養成する人材像、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及び各プログラムのアドミッション･ポリシーについては､下記の本学ホームページをご参照ください。

https://www.wakayama-med.ac.jp/dept/daigakuin-sougou/senkou/hakase2y/index.html

Ⅰ　入学期日

入学期日は、令和９年４月１日付けとする。

Ⅱ　募集人員

専　　攻	課　程	プログラム	募集人員
生命医療科学専攻	博士前期課程	生命医科学プログラム 生命薬科学プログラム	１０人

注１　博士前期課程の修業年限は２年です。

注２　募集人員には社会人を含みます。社会人とは、官公庁、研究所、企業、病院等に勤務若しくは入学後勤務予定の者をいい、勤務中の者については勤務成績が優秀で、入学後もその職を有する者をいいます。

注３　社会人が大学院教育を受けやすくするため、大学院設置基準第１４条の教育方法の特例を適用し、授業を夜間に開講するカリキュラムを実施します。

Ⅲ　領域・主科目

プログラム	区分	領　域	主科目
生命医科学プログラム	A 区分	社会医学	法医学、環境保健予防医学、公衆衛生学、医療統計学、医療データサイエンス学（医療データサイエンスコース）、医療情報学
		形態機能医学	分子機能形態学、システム神経生理学、統合分子生理学、機能調節薬理学、分子病理学
		細胞分子機能医学	代謝生物化学、分子遺伝学、分子病態解析学、難病発生学、病原微生物学
	B 区分	総合医療医学	放射線医学、救急・集中治療医学、麻酔科学、リハビリテーション医学
		器官病態内科学	糖尿病・内分泌代謝内科学、呼吸器内科学、循環器内科学、腎臓・体内環境調節内科学、リウマチ・膠原病科学
		器官病態外科学	脳神経外科学、整形外科学、脊椎脊髄病学、視覚病態眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
生命薬科学プログラム	C 区分	物理・化学薬学	薬品物理化学、薬品化学、生薬・天然物化学、有機合成化学
		生命薬学	病態解析学、生物化学、生体機能解析学、衛生薬学
	D 区分	医療薬学	病態生理学、薬品作用学、薬剤学
		臨床・社会薬学	臨床・社会薬学、病院薬学、医療薬剤学、医療開発薬学

Ⅳ　入学出願資格

１　一般入試

（１）大学を卒業した者又は令和９年３月までに卒業見込みの者

（２）学校教育法第１０４条第７項の規定により学士の学位を授与された者又は令和９年３月までに授与される見込みの者

（３）外国において、学校教育における１６年の課程を修了した者又は令和９年３月までに修了見込みの者

（４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した者又は令和９年３月までに修了見込みの者

（５）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度に位置づけられた施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和９年３月までに修了見込みの者

（６）外国の大学そのほかの学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和９年３月までに授与される見込みの者

（７）専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）又は専攻科（当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程（学校教育法第 125 条の２第１項に規定する特定専門課程をいう。）における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和９年３月までに修了見込みの者

（８）文部科学大臣の指定した者

（９）大学に３年以上在学し、又は外国において学校教育における１５年の課程を修了し、本学大学院医学薬学総合研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者

（１０）学校教育法第１０２条第２項の規定により本学大学院医学薬学総合研究科以外の大学院に入学した者であって、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると医学薬学総合研究科が認めた者

（１１）本学大学院医学薬学総合研究科において、個別の入学資格審査により、（１）に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者で、令和９年３月までに２２歳に達する者

（１２）その他本学大学院医学薬学総合研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

注１　入学出願資格（９）～（１２）により出願しようとする者は、出願資格の認定が必要となります。（下記Ⅴ 出願資格審査 を参照）
注２　入学出願資格（１１）については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者や外国大学日本分校等の修了者など大学卒業資格を有していない者であっても、本学大学院医学薬学総合研究科において個人の能力の個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者を含む。

２　海外在住者特別入試
出願時点で海外に在住し、入学試験を受験するために渡日することができない者で、「１　一般入試」の（１）～（１２）のいずれかに該当する者

Ⅴ　出願資格審査

入学出願資格（９）～（１２）により出願しようとする者は、出願前に資格審査等を行いますので、次の申請書類を期日までに提出すること。

資格審査申請 書類提出期間	令和８年１１月１２日（木）～令和８年１１月１８日（水） ただし、 土、日曜日及び祝日を除く、午前９時から午後４時まで ＊郵送による場合も、同期間内に必着のこと（書留便）。
申請書類	ア　出願資格審査申請書・・・本学所定のもの イ　卒業証明書・・・最終学歴として記載した学校等の証明書 ウ　成績証明書・・・最終学歴として記載した学校等の証明書 エ　志望理由書・・・本学所定のもの オ　就業証明書・・・本学所定のもの カ　受験許可書・・・本学所定のもの（勤務先の許可書） キ　研究計画書・・・本学所定のもの
提出場所	和歌山県立医科大学　学生課入試学務班 〒641-8509　和歌山市紀三井寺 811-1 TEL（073）441-0829 ※志望するプログラムに関わらず、提出場所は上記です。

※ 出願資格審査基準

入学出願資格（１１）により出願資格審査を受けることのできる者の学歴・職業経験等の基準は、高等学校を卒業のうえ、次の基準を満たしていること。

最　終　学　歴	最終学歴以降の志望分野における職業経験年数
短期大学を卒業した者	２年以上
高等専門学校を卒業した者	２年以上
修業年限が２年以上の専修学校を卒業した者（入学出願資格(7)を除く）	２年以上
外国の大学の日本校、外国人学校、専修学校（専門課程を除く）、各種学校の修了者並びに卒業者	大学卒業までの最短修業年数（１６年）から、最終学校卒業又は修了までの最短修業年数（１６年に満たない年数）を控除した年数 （ただし、最低２年を要する）

Ⅵ　願書受付期間及び受付場所

（1）願書受付期間

受付期間	令和８年１１月２７日(金)から令和８年１２月７日(月)まで ただし、土、日曜日及び祝日を除く、午前９時から午後４時まで

＊郵送による場合も、同期間内に必着のこと。

（２）受付及び試験事務取扱場所
〒641-8509　和歌山市紀三井寺 811-1
和歌山県立医科大学　学生課　入試学務班　TEL（073）441-0829
※志望するプログラムに関わらず、提出場所は上記です。

Ⅶ　出願手続

出願者は、下記の提出書類を取り揃えて本学学生課に提出すること。郵送する場合は、必ず書留便によること。

出願にあたっては、事前に志望主科目（学位論文作成の基本となる科目）の主任教授等又は研究指導教員（P.13 以降の特別科目「担当教員欄」の◎印）の承諾を得て、願書の「主任教授等又は研究指導教員署名欄」に署名をもらうこと。

問い合わせ先　　和歌山県立医科大学 学生課 入試学務班　TEL（073）441-0829

１　一般入試

提出書類	【出願資格（１）～（８）】 (1) 入学願書・履歴書・・・本学所定のもの (2) 志望理由書・・・本学所定のもの (3) 成績証明書・・・最終学歴として記載した学校等の証明書 (4) 卒業証明書又は卒業見込証明書・・・最終学歴として記載した学校等の証明書 (5) 学位(学士)取得証明書又は見込証明書・・・入学出願資格（２）により出願する者 (6) 写真２枚・・・出願前３か月以内に撮影したもの（正面上半身無帽で縦４㎝×横３㎝、カラー写真に限る） (7) 受験票・写真票・・・本学所定のもの (8) 語学力を証明する資料［英語外部検定試験のスコア］ （語学試験の免除を希望する場合）・・・以下のうち、いずれか一つ ※試験日から２年以内のものに限る TOEFLPBT の成績通知書（500 点以上） TOEFLiBT の成績通知書（61 点以上） TOEIC 公開テスト（L&R）の成績通知書（590 点以上） （TOEIC-IP，TOEIC S&W，TOEIC Bridge は不可） IELTS(overall score）の成績通知書（5.5 以上） (9)研究計画書・・・本学所定のもの ※社会人（Ⅱ募集人員注２.参照）は上記に加え下記書類も提出 (10)受験許可書・・・本学所定のもの（勤務先の許可書）
	【出願資格審査により認定を受けた者】 (1) 入学願書・履歴書・・・本学所定のもの (2) 出願資格認定書・・・出願資格審査後、事務局から送付します。 (3) 写真２枚・・・出願前３か月以内に撮影したもの（正面上半身無帽で縦４㎝×横３㎝、カラー写真に限る） (4) 受験票・写真票・・・本学所定のもの (5) 語学力を証明する資料［英語外部検定試験のスコア］ （語学試験の免除を希望する場合）・・・以下のうち、いずれか一つ ※試験日から２年以内のものに限る TOEFLPBT の成績通知書（500 点以上） TOEFLiBT の成績通知書（61 点以上） TOEIC 公開テスト（L&R）の成績通知書（590 点以上） （TOEIC-IP，TOEIC S&W，TOEIC Bridge は不可） IELTS(overall score）の成績通知書（5.5 以上）

検定料	30,000 円 同封の振込依頼書を使用のうえ、金融機関窓口（ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、信用組合等）で振込み（電信扱い）のこと。 （振込手数料は、本人負担となります。） 振込み後、入学検定料振込金受付証明書（C票）を、入学検定料納付書に貼り付けること。

※ 出願書類等の不備及び記載内容が事実と相違する場合は受験させないことがある。また合格発表後や入学後においても、合格又は入学を取り消すことがあるので、留意すること。

※ 証明書等に記載された姓名が出願書類の氏名と異なる場合は、変更の事実を証する書類（戸籍抄本等）を提出すること。

※ 受験票の郵送を希望する場合は、受験票の返信用封筒（住所、氏名、郵便番号を表記し、書留速達料金を含む 890 円の郵便切手を貼った封筒）を同封すること。

2　海外在住者特別入試

上記「1　一般入試」の出願書類に加え、下記の書類を提出すること。なお、海外在住者特別入試で出願する場合は、「語学力を証明する資料」を必ず提出すること。

検定料については、「1　一般入試」の検定料の欄を参照すること。

提出書類	(1) 推薦状・・・1名以上の推薦状（日本語又は英語） (2) 受入教員の承諾書・・・受入教員から提出 (3) 語学力を証明する資料［英語外部検定試験のスコア］（再掲） ・・・以下のうち、いずれか一つ ※試験日から2年以内のものに限る TOEFLPBT の成績通知書（500 点以上） TOEFLiBT の成績通知書（61 点以上） TOEIC 公開テスト（L&R）の成績通知書（590 点以上） （TOEIC-IP，TOEIC S&W，TOEIC Bridge は不可） IELTS（overall score）の成績通知書（5.5 以上） (4) 顔写真付きの本人確認書類（パスポート等）の写し（カラー） (5) 受験票の返信用封筒（住所、氏名、郵便番号を表記し、国際書留料金を含む郵便切手を貼った封筒を同封すること。）

Ⅷ　受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

入学を志願する者で、障害等があり、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とする者は、次の事項を記載した書類（様式は任意）を添えて、出願受付開始日の前日までに願書受付場所に相談してください。

① 出願者の氏名、住所、電話番号
② 志望主科目及び指導を希望する教員名
③ 障害等の種類・程度（障害者手帳のコピー又は医師の診断書を添付）
④ 受験上及び修学上の配慮を希望する事項
⑤ 出身大学等でとられていた配慮、日常生活の状況など

Ⅸ　試験科目、試験期日及び試験場

1　一般入試

科目 ／ 期日時間	専門筆記試験	面　接	語学試験	試　験　場
令和９年１月８日（金）	１１：００～ １２：００	１３：３０～ １６：３０	１７：００～ １８：３０	高度医療人育成センター５階

（備考）　ア　集合時間・場所は出願者に別途連絡する。
イ　専門筆記試験は、志望する主科目（研究分野）について行う。
ウ　語学試験は「英語」とする。辞書は持ち込み可（電子辞書は不可）
エ　Ⅶ出願手続の提出書類「語学力を証明する資料」を提出した受験者は語学試験が免除される。
※受験者は、試験開始２０分前までに試験場に参集のこと。
※試験場は変更することがあります。変更がある場合は、別途出願者に連絡します。

２　海外在住者特別入試

科　目 ／ 期日時間	専門筆記試験及び面接 ※対応言語は、原則日本語又は英語
令和９年１月８日（金）	１３：３０～１６：３０

（備考）　ア　試験日時は出願者に別途連絡する。
イ　専門筆記試験は、志望する主科目（研究分野）について口頭試問を行う。
ウ　試験はオンライン方式で実施する。詳細は試験日時とともに通知する。

X　選抜方法及び配点

基準を満たす英語外部検定試験のスコアを提出した者は、本学の語学試験を免除します。語学試験が免除となる英語外部検定試験及びスコアの基準点は「Ⅶ　出願手続」の提出書類の欄を参照してください。

英語外部検定試験のスコア又は本学の語学試験の点数は、入学に必要な英語能力の判定に使用します。最終合格者の判定は、専門筆記試験（100 点満点）、面接（100 点満点）、英語能力及び出願書類等により総合的に行います。

XI　合格発表

令和９年２月１９日（金）１６時３０分
本学ホームページ上に２月１９日（金）１６時３０分から一定期間掲載するとともに、合格者本人あてに郵送にて通知する。
掲載場所：本学ホームページ>入試・入学案内>大学院医学薬学総合研究科>合格発表

XII　入学手続

手続期間	令和９年３月３日（水）～令和９年３月９日（火） ただし、土、日曜日及び祝日を除く、午前９時から午後５時まで
提出書類	(1) 卒業見込みで受験した者は、卒業証明書 (2) 在学誓約書　本学所定のもの (3) 写真２枚　願書と同一のもの
入 学 金	282,000 円

＊　期日までに手続を行わなかったときは合格を取り消すことがある。

XIII　授業料

年額 535,800 円（毎年５月、１１月の２回に分納する。）

XIV　その他

(1) 出願手続後は、理由を問わず、検定料は返還しない。
(2) 入学手続後は、理由を問わず、入学金は返還しない。
(3) 募集要項、願書等は 270 円の郵便切手を封入の上、本学学生課へ請求のこと。(返信用封筒不要)　※出願書類は、本学ホームページ
(https://www. wakayama-med. ac. jp/dept/daigakuin-sougou/bosyuuyoukou.html)
よりプリントアウト可能

(4) 入学金、授業料等の額は、改定されることがある。在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。
(5) 職業を有している等の事情により、標準修業年度を超えて、一定期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを希望する場合には、長期履修制度を申請することができる。申請者は、別途指定する期日までに学生課窓口へ申し出ること。
(6) 本学では、出願及び入学手続にあたって提出された個人情報は、入学試験の実施、合格発表、入学手続及び入学後の学生生活関連業務において使用します。本学が取得した個人情報は、第三者に提供することはありません。
(7) 過去の入試問題（語学試験のみ）の閲覧については、学生課入試学務班（電話 073-441-0829）までお問い合わせください。
(8) 気象警報の発令や公共交通機関の乱れ、大規模災害、感染症などにより、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、試験の中止・延期等の対応について、下記ホームページでお知らせします。
本学ホームページ　https://www.wakayama-med.ac.jp/
(9) 本学では、入試における公平性・公正性を確保するため、不正行為には厳正に対処します。不正行為の範囲や不正行為への対応については、ホームページに掲載していますので、確認してください。
(10) 本学には、入学金・授業料の減免制度や和歌山県立医科大学青洲基金大学院奨学金（給付型）などの学生が利用できる経済支援制度があります。また、日本学生支援機構の奨学金（貸与型）も利用可能です。各制度を利用するには申請が必要です。詳細や申請方法については、ホームページに掲載しています。

奨学金関係　　減免制度関係　　青洲基金大学院奨学金

令和８年１１月

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科
〒641-8509　和歌山市紀三井寺 811-1（医系）
〒640-8156　和歌山市七番丁 25 番 1（薬系）

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科　生命医療科学専攻博士前期課程の概要

1　目　　的

地域の保健医療課題に立脚した分野横断的な大学院教育により、共同研究において地域保健医療を推進できる優れた生命医療科学（医科学・薬科学）研究者又は地域保健医療の現場で医療チームを支える重要な一員として活躍できる優れた専門職医療人等を育成することを目的としています。

2　標準修業年限　　２年

3　授与する学位　　修士（医科学）、修士（薬科学）

4　修了要件

博士前期課程に２年以上在学し、所定の単位（３１単位以上）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること

5　授業科目一覧

科目区分	授業科目	単位数		備　考
		必修	選択	
共通科目	研究倫理・医療倫理学Ａ	1		３単位
	多職種連携Ａ	1		
	医療情報リテラシーA	1		
ベーシック科目	基礎的研究方法論	1		６単位以上
	社会・予防医学概論	1		
	Academic English	1		
	地域医療課題概論	1		
	基礎生体科学特論		1	
	生体分子解析学特論		1	
	基礎医科学・薬科学特論Ⅰ		1	
	基礎医科学・薬科学特論Ⅱ		1	
専門科目	人体構造機能科学特論＊		1	６単位以上 ※生命医科学プログラム選択生は＊印から４単位以上、☆印から２単位以上（医療データサイエンスコースの学生は医療データサイエンス学特論Ａを必ず履修） ※生命薬科学プログラム選択生は＊印から２単位以上、☆印４単位必修
	機能調節薬理学特論＊		1	
	微生物・ウイルス・免疫学特論＊		1	
	病理病態学特論Ａ＊		1	
	臨床医学特論＊		1	
	健康科学特論＊		1	
	医療データサイエンス学特論Ａ＊		2	
	安全科学特論☆		1	
	医薬品開発特論☆		1	
	最先端創薬科学特論☆		1	
	健康機能調節学特論☆		1	
特別科目	特別演習		2	１６単位 ※１０領域から選択 ※主科目（１４単位）＋副科目（特別演習：２単位）
	特別研究		１２	

6　長期履修制度

社会人学生で職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することができる制度です。社会人学生でも長期履修制度を活用することにより、研究時間を確保することができます。

講義等の概要

※下記概要に従い、授業を行いますが、内容が若干変更となる場合があります。

＜共通科目＞

授業科目	概　　要
研究倫理・医療倫理学 A	医学・薬学における教育、研究及び臨床は、生命に対する尊厳や倫理観をもって行われなければならない。本講義では、動物実験や遺伝子組み換え実験などにおける研究倫理及び臨床現場での医療倫理について基礎的な知識を修得し、生命医療科学研究者、専門職医療人として求められる倫理観を養う。
多職種連携 A	地域の保健医療課題の解決においては、各分野を専門とする医療従事者の連携が重要である。本講義では、医学、薬学、保健看護学の観点から多職種連携の実践に係る基本的な知識を修得することを目的とする。
医療情報リテラシーA	医療ビッグデータやゲノム情報などの医療情報を取り扱う研究分野の重要性が増していることから、医療情報の処理や活用の基本的手法を倫理的な観点も含めて修得する。

＜ベーシック科目＞

授業科目	概　　要
基礎的研究方法論	電気生理学的実験方法や社会調査法などの基礎的研究方法や実験動物モデルの基本的な取扱い等について学び、研究を遂行する上で必要となる基礎的知識を修得する。
社会・予防医学概論	本講義では生活習慣病に係る危険因子と予防や地域医療の実情について疫学的観点から学ぶとともに、いわゆる臨床研究を含む広義の疫学分野における基礎的知識・研究手法を修得する。
Academic　English	本講義では課題考察の基盤となる英語力（英語論文の読み方・書き方、学会等でのプレゼン方法など）を養うとともに、英語での研究発表、英語論文による成果の発信等に必要な能力を育てる。
地域医療課題概論	本県は南北に長い地形で山間部も多く、地域医療体制の確保が重要であるとともに、高齢化に伴う認知症などの疾患が地域の保健医療課題となっている。本講義では、本県の地域医療の実態を学ぶとともに、認知症など高齢者に多い疾患について学修し、地域の保健医療課題への関心・理解を深める。また、在宅緩和ケアや予防医療、医療・介護資源の確保、副作用管理等における地域医療の役割について概説し、地域医療連携の現状と課題への理解を深める。
基礎生体科学特論	生命医療科学研究の最も基本となる生物学及び細胞生物学の知識・実験技術等について、細胞の構造と機能、遺伝学、細胞周期の制御、恒常性の維持、小胞輸送などを中心に幅広く学び、基礎的知識を修得する。
生体分子解析学特論	生命医療科学研究の最も基本となる生体分子解析学及び分子病態解析学の知識・実験技術等について、質量分析法・分光分析法・構造決定法、ゲノム・オミックス解析手法を中心に幅広く学び、基礎的知識を修得する。

授業科目	概　　要
基礎医科学・薬科学特論Ⅰ	本講義では、生命医療科学研究の推進に必要な専門性探求の基礎となる統合分子生理学、分子機能形態学、分子生物薬学などの知識を基礎から応用まで幅広く身につける。専門分野以外の知識・見識も修得することにより、専門分野にとらわれない課題発見力修得の基礎を築く。
基礎医科学・薬科学特論Ⅱ	本講義では、生命医療科学研究の推進に必要な専門性探求の基礎となる代謝生物化学、分子遺伝学、薬品化学などの知識を基礎から応用まで幅広く身につける。専門分野以外の知識・見識も修得することにより、専門分野にとらわれない課題発見力修得の基礎を築く。

＜専門科目＞

授業科目	概　　要
人体構造機能科学特論	医科学研究を進める上で人体の構造や機能についての知識は必須である。本講義では、医科学研究の基盤となる人体の臓器や組織の構造、生体恒常性等についての専門的知識を修得し、理解を深める。
機能調節薬理学特論	医科学研究・薬科学研究の双方において重要な薬理学に関する専門的知識、特に薬理学の概論、薬物の作用点・受容体、薬物の体内動態（吸収・分布・代謝・排泄）、薬物相互作用について解説する。
微生物・ウイルス・免疫学特論	新たな感染症への対策が地域の保健医療課題として重要となっている昨今の状況を踏まえ、微生物・ウイルス・細菌及び免疫に関する最新の知見を学ぶとともに、研究用微生物の取扱いについて理解を深める。また課題の解決に向けて自ら考えて取り組む力を培う。
病理病態学特論 A	がんを中心とした病理学に関する基礎的知識・研究手法を身につけるとともに、がんの発生・進展、転移の分子メカニズムの解明などの分子病理学的研究、組織・細胞検体を用いた臨床病理学的研究の基礎を修得する。
臨床医学特論	内科、外科、精神科などの臨床医学の各分野における概論的な内容や最近のトピックスなどを幅広く学び、各疾患等における最新の知見を修得する。
健康科学特論	本講義ではリハビリテーション医療や透析医療、アレルギー疾患など、地域の保健医療課題の一つである高齢化や身近な疾患を取り上げることにより、自ら課題の解決に向けて取り組む能力を養うとともに、地域保健医療を推進する能力を培う。また、専門職医療人として必要な臨床知識・技術を身につける。
医療データサイエンス学特論 A	近年、医療ビッグデータやゲノム情報など医療関連分野のデータ活用が重要視されている。本講義では、R 言語の基礎や回帰分析・分散分析、生存時間分析などの理論や応用を学ぶとともに、R による基本的なプログラミングや経時データ解析などを修得し、医療情報を活用する様々な方法を身につける。

授業科目	概　　要
安全科学特論	化学物質の持つ毒性・安全性を理解する。医薬品や環境化学物質の代謝について安全性確保の観点から，医薬品候補化合物や環境化学物質のヒトにおける毒性発現を予測するための評価方法を学修する。ヒトにおける医薬品の代謝と排泄機構を理解する。薬物治療の安全性の観点から，薬物代謝酵素とその遺伝子多型が引き起こす体内薬物濃度変動を理解する。
医薬品開発特論	製薬会社において、創薬シーズが新薬として市販化されるまでの過程について、シーズ探索、物性評価や分析技術、安全性、製剤開発や動態予測、品質評価、承認申請など様々な立場から現状を理解し、創薬研究者としての知識・技能醸成に役立てる。
最先端創薬科学特論	医薬品は専ら低分子化合物であったが、2000 年前後になって抗体医薬の開発が本格化し、現在では核酸医薬、遺伝子治療などの新しいモダリティが相次いで開発されつつある。本特論では、低分子化合物からの創薬にとどまらず、新たなモダリティ創薬についても学び、それぞれの利点や特色について理解する。また、投与方法について最新の方法論を学び、主剤開発のみならず製剤面からも最先端の創薬について理解を深める。
健康機能調節学特論	超高齢社会における生活環境において、環境要因によって起こる疾病や、食品の変質や汚染によって起こる健康被害や食中毒を理解することは重要である。医薬品の微粒子化など、ヒトの健康に与える影響、毒性の発現メカニズムも多様化している。また、健康志向の高まりから、機能性食品の開発も激化し、その品質担保が必要とされている。本講義では化学物質が健康に与える影響を分子レベルから環境との関わりまで幅広く講義し、関連する規制・制度や関連法規を含めて解説する。

＜特別科目＞※担当教員欄の職位は、認可決定時又は専任教員採用等設置計画変更後のものを記載

区分	領域	主科目	担当教員 （◎研究指導教員）	授業の概要
A区分	社会医学	法医学	教授　近藤　稔和 ◎准教授　石田　裕子 ◎講師　野坂みずほ 講師　石上安希子	【特別演習】 突然死や自殺の異状死に関する最新の文献を読み発表し議論する。 【特別研究】 損傷死のモデルを樹立してその分子メカニズムを解析する。
		環境保健予防医学	教授　藤吉　朗 ◎准教授　東山　綾 助教　竹村　重輝 助教　鈴木　春満	【特別演習】 ①生活習慣病の予防に関する特定のトピックを指導教員のもとで選択し､それに関する知見を発表する。②統計ソフトの基本操作を紹介する。③「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を学ぶ。 【特別研究】 ①論文作成に必要な背景知識（統計、倫理申請書を含む）を理解し、指導のもと可能な限り関連した実務も行う。②研究テーマにつき学会発表を目指し、修士論文を執筆する。
		公衆衛生学	教授　上田　豊	【特別演習】 個別化予防実践のためのデータ解析 予防医学、特に先制医療としての個別化予防医学に重点をおき、実際のデータを用いて統計ソフトを使用して解析する。 【特別研究】 個別化予防実践のためのバイオマーカー開発研究において、バイオマーカー測定及びデータ解析を行う等の研究指導、並びに論文作成の指導を行う。
		医療統計学	◎教授　下川　敏雄 ◎講師　万　可	【特別演習】 英文書籍及び論文等の抄読を通じて統計手法あるいはデータサイエンス手法の理解を深めるとともに、英文での論文作成のための素養を身につける。抄読については、パワーポイント等を用いた発表形式で行うこととする。 【特別研究】 統計解析環境 R あるいはプログラミング言語 python を用いて統計手法のプログラミング及びパッケージ化を行うため。統計手法のヴァリデーション、あるいは性能の評価を行うための統計的シミュレーションについて指導する。

区分	領域	主科目	担当教員 （◎研究指導教員）	授業の概要
A区分	社会医学	医療データサイエンス学／医療データサイエンスコース	◎教授　下川　敏雄	【特別演習】 リアルワールド・データ及び公的ミクロデータの利活用に関する書籍・論文等を抄読する。抄読については、パワーポイント等を用いた発表形式とする。また、python 言語を用いたデータハンドリングのためのプログラミング技法について身につける。 【特別研究】 修士論文作成のための研究計画について指導する。そこでは、リサーチクエスチョンの立案の方法、研究計画書の作成方法について、人を対象とした医学・薬学研究に関連するレギュレーションとともに指導する。次いで、研究テーマに基づく研究計画の立案を行うとともに、実践のためのデータベース・マネジメント･システム(DBMS)を設計する方法について指導を行う。
		医療情報学	◎教授　西川　彰則	【特別演習】 医療情報に関する概説的な講義を行うとともに診療情報の収集システムの利活用などを学ぶ。 【特別研究】 選定した研究テーマにおいて、研究計画の立案及び実践の指導を行い、学会発表、論文作成についての指導を行う。
	形態機能医学	分子機能形態学	教授　小森　忠祐 助教　久岡　朋子 ◎助教　梶本みずき	【特別演習】 生体における病的異常を検討するための解析方法（組織学的解析など）について講義し、実技指導を行う。 【特別研究】 種々の解析方法（組織学的解析など）を用いて研究を行い、得られたデータの解釈・考察や、学会発表、論文作成について指導を行う。
		システム神経生理学	◎教授　小林　克典 講師　井辺　弘樹	【特別演習】 シナプス伝達、神経回路、高次脳機能に関する基本知識と研究手法を解説し、関連する文献を読んで理解を深める。 【特別研究】 中枢神経標本に電気生理学的手法や生化学的手法を適用して実験データを取得し、実験結果と関連文献に基づいて議論を行い、論文作成を指導する。
		統合分子生理学	教授　中田　正範 ◎准教授　廣野　守俊 講師　稲葉　秀文	【特別演習】 生理学的研究手法の原理を解説し、実際に細胞実験を指導する。 【特別研究】 生理学的研究によりデータを集積し、文献の収集と議論を行い、研究結果の解析と考察を進めて論文作成を指導する。

区分	領域	主科目	担当教員 （◎研究指導教員）	授業の概要
A区分	形態機能医学	機能調節薬理学	教授　西谷　友重 ◎講師　納富　拓也 ◎講師　陳　以珊 助教　安田　純平	【特別演習】 イオンシグナル制御機構と解析方法：興奮性組織におけるイオンシグナル制御機構について概説する。またこれに必要な解析方法について理解を深め、ディスカッションを行う。 【特別研究】 興奮性組織におけるイオンシグナル制御機構の解明と薬物の作用について研究指導を行う。またデータ収集・解析、論文執筆など論文作成の指導を行う。
		分子病理学	教授　江幡　正悟 ◎講師　及川　恒輔 ◎講師　中西　雅子	【特別演習】 がん研究における生化学的・分子生物学的解析手法（及川恒輔／中西雅子） がん細胞の悪性形質の解析手法（江幡正悟） がん研究で用いられる基本的な手法について解説するとともに、実際に実験を行うことで技術の修得を目指す。 【特別研究】 形態学的情報・遺伝子発現に基づくがん細胞の形質の解析：形態学的な情報や遺伝子発現の情報に基づき、がん細胞が獲得している悪性形質を評価する研究手法を指導する。
	細胞分子機能医学	代謝生物化学	教授　井原　義人 ◎准教授　西辻　和親	【特別演習】 生体分子の代謝の基礎とその医学生理学的意義について、講述や文献解読などを通じて学ぶ。 【特別研究】 タンパク質の“糖鎖/糖付加修飾”に焦点を絞り、糖質科学の観点から細胞機能を評価するため、生体分子の取り扱い、分離、精製、分析、遺伝子工学などの実験手技について研究指導を行い、研究成果をもとに論文作成の指導を行う。
		分子遺伝学	教授　井上　徳光 准教授　馬場　崇	【特別演習】 分子遺伝学基礎演習：遺伝子や遺伝学の基礎的な知識を理解し、そのために必要な知識や方法について学ぶとともに、実際に実験を行うことで技術の修得を目指す。 【特別研究】 分子遺伝学基礎特別研究：疾患に関わる分子メカニズムを理解し、新規分子メカニズムの解明、新規診断方法の開発、新規治療戦略の開発について研究指導を行う。

区分	領域	主科目	担当教員 （◎研究指導教員）	授業の概要
A区分	細胞分子機能医学	分子病態解析学	教授　橋本　真一	【特別演習】 ゲノム関連の悪性腫瘍、炎症疾患、感染症などに係る最新のゲノム関連の解析結果の解釈法や発表方法について講義及び演習を行う。 【特別研究】 臨床医学と連携した研究課題を中心に研究を進め、疾患におけるゲノム・オミックス解析を中心とした分子病態解析法を用いた研究の指導を行う。
		難病発生学	教授　齋藤伸一郎 ◎講師　安藝　大輔 ◎助教　齋藤　良子	【特別演習】 老化やオルガネラ異常が原因である疾患の発症について論文の抄読と講義、演習を通じて学ぶ。 【特別研究】 オルガネラ異常による難病の発症機構解明のための実験手技を説明し、研究成果を論文にまとめて発表できるように指導する。
		病原微生物学	◎教授　金井　祐太 講師　太田　圭介	【特別演習】 ウイルスの基本構造、分類、増殖機構を概説し、主要なウイルス感染症の病態や診断法について学ぶ。 【特別研究】 ウイルスの取り扱いに関する基本操作に習熟し、培養細胞へのウイルス感染実験を通じた研究指導を行う。
B区分	総合医療医学	放射線医学	教授　土井　啓至 ◎准教授　生駒　顕	【特別演習】 CT や MRI などを用いた画像診断の論文を読み、討議する。 【特別研究】 CT や MRI などの診断能を解析し、学会発表や論文作成の指導を行う。
		救急･集中治療医学	教授　井上　茂亮 ◎准教授　上田健太郎 講師　宮本　恭兵	【特別演習】 標準化された救急医療に関する知識を修得し、その教育技法について学ぶ。救急診療におけるデータベース構築のあり方と集積されたデータに基づいた標準化された診療の成り立ちを学ぶ。 【特別研究】 標準化された救急診療内容を教育するための方略について指導し、シミュレーション教育や臨床現場での教育手法に関わる論文作成を指導する。
		麻酔科学	教授　川股　知之 ◎准教授　時永　泰行 准教授　神田　浩嗣 ◎講師　山﨑　亮典	【特別演習】 周術期医療における主要テーマについて文献を読み、専門的知識及び基礎・臨床研究の手法について学ぶとともに、臨床知識・技術を修得する。またディスカッションを行うことにより、自ら考察する能力や課題発見力を養うとともに、研究結果の解釈法や発表方法について学ぶ。 【特別研究】 周術期分野において修士論文作成の指導を行う。データの収集・解析や実験を遂行する。また、研究成

区分	領域	主科目	担当教員 （◎研究指導教員）	授業の概要
B区分	総合医療医学	麻酔科学		果を発信して社会貢献できる研究能力を身につけるとともに、臨床技能の向上を図る。
		リハビリテーション医学	教授　幸田　剣 ◎講師　坂野　元彦	【特別演習】 幅広い視野にたったリハビリテーション医学・医療の概要を理解し、総合力を高める演習を行う。 【特別研究】 リハビリテーション医学・医療に関する学会発表や修士論文作成の指導を行う。
	器官病態内科学	糖尿病・内分泌代謝内科学	教授　松岡　孝昭 ◎准教授　森田　修平	【特別演習】 糖尿病に関する概説的な講義を行う。また糖尿病発症メカニズムに関する最新の文献を読み、教員と議論を行うことにより、糖尿病に関する理解を深める。 【特別研究】 糖尿病発症に関わる分子メカニズムを理解するための in vivo/in vitro 研究手法の修得に向け指導し、実際に新知見の探求のための実験を行ってもらう。得られた結果については発表の機会を設ける。
		呼吸器内科学	教授　山本　信之 （令和９年３月退職予定） ◎准教授　中西　正典 准教授　洪　泰浩 ◎講師　早田　敦志 講師　泉　源浩	【特別演習】 呼吸器疾患の診療・研究における最近の動向：呼吸器疾患に関する概説的な講義を行う。また最新の文献を読み、発表する機会を設け、教員と議論を行うことにより、呼吸器疾患に関する理解を深める。 【特別研究】 呼吸器疾患に関する臨床研究等について研究指導を行う。
		循環器内科学	教授　田中　篤 准教授　谷本　貴志 ◎講師　山野　貴司 ◎講師　黒井　章央 講師　塩野　泰紹	【特別演習】 循環器内科学における、最新の画像診断法・生理学的診断法の実践的演習：循環器疾患に関するイメージングを用いた診断法、圧・流速ワイヤーを用いた生理学的診断法の最新の研究手法及び成果を学び、それらを用いた臨床課題の解決能力を涵養する。 【特別研究】 循環器内科学における最新の形態学的及び生理学的診断法についての研究指導を行い、論文を作成する。
		腎臓・体内環境調節内科学	教授　荒木　信一 助教　中島　悠里	【特別演習】 腎疾患の発症機序と最新の治療法：腎疾患の発症機序、治療に関する文献を抄読し議論を行うことで、自らが新たな臨床課題を見出すことができる能力を養う。 【特別研究】 体内環境調節の破綻により惹起される病態に関する研究を指導する。
		リウマチ・膠原病科学	教授　藤井　隆夫 ◎准教授　岩田　慈	【特別演習】 全身性エリテマトーデス（岩田が担当）や関節リウマチ（藤井が担当）に関して、その患者血清中に見いだされる自己抗体・抗核抗体の種類と臨床的意義を講義する。特にその測定法と結果の解釈、また今

区分	領域	主科目	担当教員 （◎研究指導教員）	授業の概要
B区分	器官病態内科学	リウマチ･膠原病科学		後の課題を示し、いかなる研究テーマを選択するかをディスカッションする。 【特別研究】 関節リウマチ・全身性エリテマトーデス患者における自己抗体・抗核抗体研究を紹介し、当科で行える研究の立案に役立つようこの領域における現在の課題と方向性を講義する。また上記の計画のもと、自己抗体の研究指導を行う。
	器官病態外科学	脳神経外科学	教授　中尾　直之 （令和９年３月退職予定） 准教授　深井　順也 ◎准教授　北山　真理 ◎講師　八子　理恵 ◎講師　中井　康雄 講師　佐々木貴浩	【特別演習】 脳神経外科学における主要テーマである脳腫瘍や脳卒中について文献を読み、専門的知識及び基礎・臨床研究の手法について学ぶとともに、臨床知識・技術を修得する。またディスカッションを行うことにより、自ら考察する能力や課題発見力を養うとともに、研究結果の解釈法や発表方法について学ぶ。 【特別研究】 脳腫瘍又は脳血管障害の病態解明や治療法に関する研究課題の設定から研究計画の立案方法を修得するとともに、計画に沿って主導的にデータの収集・解析や実験を遂行できるように指導を行う。
		整形外科学	教授　山田　宏 ◎准教授　岩﨑　博 ◎准教授　筒井　俊二 ◎准教授　髙見　正成 講師　寺口　真年	【特別演習】 運動器加齢変性疾患の疫学的調査研究に関する概説的な講義を行うとともに、最新の文献を読み、教員と議論することにより、運動器加齢変性疾患に関する理解を深める。 ・運動器加齢変性疾患の疫学研究の最近の動向（山田　宏） ・疫学研究の実態（岩﨑　博） ・運動器加齢変性と疼痛（筒井俊二） ・運動器加齢変性と身体機能（髙見正成） 【特別研究】 運動器加齢変性疾患疫学調査データベースの解析による運動器加齢変性疾患の病態解明に関する研究を行う。 ・運動器加齢変性疾患の疫学研究の課題設定、計画の立案（山田　宏） ・疫学研究の手法（岩﨑　博） ・疫学研究データベースの作成と解析（筒井俊二） ・疫学研究の臨床応用（髙見正成） ・運動器加齢変性疾患の疫学研究の課題設定、計画の立案（山田　宏） ・疫学研究の手法（岩﨑　博） ・疫学研究データベースの作成と解析（筒井俊二） ・疫学研究の臨床応用（髙見正成）

区分	領域	主科目	担当教員 （◎研究指導教員）	授業の概要
B区分	器官病態外科学	脊椎脊髄病学	◎教授　中川　幸洋	【特別演習】 脊椎脊髄疾患に対する新たな低侵襲治療についてその臨床的意義の検証のため、画像の経過及び臨床症状の経過及び評価を行う。 【特別研究】 脊椎脊髄疾患に対する新たな低侵襲治療についてその臨床的意義の検証のため、画像及び臨床症状の評価を行うための研究指導、論文作成の指導を行う。
		視覚病態眼科学	教授　雑賀司珠也 教授　岡田　由香 ◎准教授　住岡　孝吉 ◎准教授　小門　正英 ◎准教授　田中　才一	【特別演習】 眼組織創傷治癒に関する文献から専門的知識及び基礎・臨床研究の手法を学び、これらの実践能力を修得する。また指導層との討論を介して、主体的に考察する能力や課題発見力を養うとともに、創傷治癒の評価等における実験結果の解釈やまとめ方について指導する。 【特別研究】 修士論文作成の指導を行う。研究課題の設定・研究計画の立案とともに、計画に沿ってデータの収集・解析や実験を遂行する。眼組織の生体反応に関して、日々の臨床活動や地域の保健医療での課題等の解決に向けた研究を実践し、研究成果を発信して社会貢献することの重要性を説く。
		耳鼻咽喉科･頭頸部外科学	教授　保富　宗城 ◎准教授　玉川　俊次 ◎准教授　河野　正充	【特別演習】 １．聴覚（河野正充）、嗅覚・味覚（保富宗城） 聴覚・人工内耳の最新情報と聴覚評価法、嗅覚・味覚の機序と嗅覚障害動物モデルの作成及び嗅覚行動検査法について解説する。 ２．嚥下機能（玉川俊次） 嚥下機序の解説と評価法、嚥下障害の評価法と嚥下改善手術について解説する。 ３．頭頸部癌・甲状腺癌（玉川俊次） 頭頸部癌におけるパピローマウイルス・EB ウイルスによる発癌機序と癌転移機序について解説する。 ４．耳鼻咽喉科頭頸部外科領域感染症（保富宗城） 耳鼻咽喉科頭頸部外科領域感染症の原因微生物と難治化機序、耳鼻咽喉科頭頸部外科領域感染症に対する抗菌薬適正使用について解説する。 【特別研究】 １．聴覚（河野正充）、嗅覚・味覚（保富宗城） 人工内耳による聴覚機能の改善、嗅覚障害の診断法と嗅覚トレーニングに関する研究指導及び論文作成指導を行う。 ２．頭頸部癌・甲状腺癌（玉川俊次） 頭頸部癌・甲状腺癌の治療予後についての研究指導及び論文作成指導を行う。 ３．耳鼻咽喉科頭頸部外科領域感染症（保富宗城） 耳鼻咽喉科頭頸部外科領域感染症の難治化機序と抗

区分	領域	主科目	担当教員 （◎研究指導教員）	授業の概要
B区分	器官病態外科学	耳鼻咽喉科･頭頸部外科学		菌薬適正使用についての研究指導及び論文作成指導を行う。
C区分	物理・化学薬学	薬品物理化学	教授　中津　亨 ◎准教授　入江　克雅	【特別演習】 生体高分子の機能解明に必要な構造生物学的研究の討論と解説を行う。 【特別研究】 生体高分子メカニズムの構造基盤解明及び構造生物学的解析法に関する研究の指導を行う。
		薬品化学	教授　相馬　洋平 ◎助教　澤﨑　鷹	【特別演習】 創薬化学に資する基盤的手法の演習を行う。 【特別研究】 創薬化学に資する基盤的手法の開発研究を指導する。
		生薬･天然物化学	教授　田村　理 ◎准教授　田中　千晶	【特別演習】 医薬品の礎となった天然有機化合物の基原、化学構造、生物活性メカニズム及びその解析について理解し、その応用を修得する。 【特別研究】 活性評価系を構築し生物活性天然物を探索した上で、見出した活性天然物の化学構造から構造活性相関研究へと展開し、活性発現に必須の構造単位を解明する。
		有機合成化学	◎教授　村井　健一	【特別演習】 文献抄録会やデータ検討会を行い、有機化学及び関連する生命科学分野の研究内容を理解し、議論できるよう学修を深める。 【特別研究】 有機化学に関する基礎的な研究を指導する。研究内容に応じて、実験手技、情報やデータの収集法、論文の執筆を指導し、研究を実施するために必要な能力を修得し実践できるよう学修を深める。
	生命薬学	病態解析学	◎教授　長野　一也 准教授　山下　琢矢 助教　堤　崚太郎	【特別演習】 「物質」と「生体応答」を紐づける体内動態を基盤に、疾患にとどまらず、未病の段階から総合的に理解･介入するための講義を双方向で行う。その上で、最新の文献を理解し、教員と議論することで、問題解決能力を高める。 【特別研究】 体内動態を基盤とした未病・疾患の理解と制御に関する研究を指導する。

区分	領域	主科目	担当教員 （◎研究指導教員）	授業の概要
C区分	生命薬学	生物化学	教授　長田　茂宏	【特別演習】 遺伝子発現調節、再生・がん化、毒性評価に関する概説的な講義を行う。また最新の文献を読み、発表する機会を設け、教員と議論を行うことにより、遺伝子発現調節、再生・がん化、毒性評価に関する理解を深める。 【特別研究】 遺伝子発現調節、再生・がん化、毒性評価に関する研究を指導する。
		生体機能解析学	◎教授　那波　宏之 （令和９年３月退職予定） 准教授　木口　倫一 講師　難波　寿明	【特別演習】 中枢神経系の機能異常に基づく慢性疾患の病態生理及び治療戦略に関する講義を行う。また最新の文献から得られる情報をもとに教員との議論を行い、当該分野における研究の動向や課題について理解する能力を養う。 【特別研究】 中枢神経系の機能異常に基づく慢性疾患の分子基盤解明に関する研究を指導する。
		衛生薬学	◎教授　佐能　正剛	【特別演習】 肝臓、肝外組織における代謝酵素の発現調節機構や生理機能に関する新しい知見を学び、疾患や副作用との関連性を議論しその理解を深める。 【特別研究】 代謝酵素の発現調節機構や生理機能、疾患や副作用との関連性に関する研究を指導する。
D区分	医療薬学	病態生理学	教授　佐藤慎太郎 ◎講師　中村　有孝 ◎助教　民谷　繁幸	【特別演習】 基礎免疫学に関する､比較的新しい原著総説の詳読、研究データの発表、議論を行う方法を学ぶ。 【特別研究】 感染症免疫を中心に､免疫学に関係する研究を行う。
		薬品作用学	教授　新谷　紀人 ◎講師　岩田　圭子	【特別演習】 週 1 回程度の文献抄読会、データ検討会を行う。 【特別研究】 脳やミトコンドリアをひとつの切り口とした基礎研究・応用研究を行う。研究内容に応じて教員が実験手技、情報やデータの収集法、データ処理法を指導する。
		薬剤学	◎教授　門田　和紀 准教授　福田　達也	【特別演習】 薬剤学に関する最新の文献詳読､研究データの発表、議論を行う方法を学ぶ。 【特別研究】 薬剤学の発展に資する新しい研究課題を立案し、in vitro 及び in vivo の多様な実験による究明を図り、成果公表につなげる。

区分	領域	主科目	担当教員 （◎研究指導教員）	授業の概要
D区分	臨床・社会薬学	臨床･社会薬学	◎教授　松原　和夫 （令和９年３月退職予定）	【特別演習】 文献調査の研究報告・討論会を行う。パワーポイント等によるプレゼンテーション形式で発表し、質疑討論を行う。 【特別研究】 臨床薬剤師の病棟活動に基づくクリニカルクエスチョンをベースに、臨床研究の立案及びその実践を行う。
		病院薬学	教授　中川　貴之 ◎准教授　松本みさき ◎助教　抱　将史	【特別演習】 医療薬学、臨床薬理学等の病院薬学に関する概説的な講義を行う。また病院薬学に関する最新の文献を読み、内容を整理・考察し、発表する機会を設け、教員と議論を行う。 【特別研究】 病院診療記録や医療ビッグデータ等から得られた様々な臨床課題をもとに実験系を構築し、治療標的や予防/治療候補薬の探索、開発等の基礎研究を行う。
		医療薬剤学	教授　江頭　伸昭	【特別演習】 医療薬剤学の研究報告会を行う。パワーポイント等によるプレゼンテーション形式で発表し、質疑討論を行う。 【特別研究】 教員が指導し、学生各自の研究内容について特別研究を行う。
		医療開発薬学	教授　今井　哲司 ◎准教授　山下　哲	【特別演習】 慢性疼痛や睡眠障害の神経科学的な発症機序について講義を行う。また、最新の文献を読み、発表する機会を設け、教員と議論を行うことにより最新知見だけでなく、アンメットメディカルニーズや新規治療戦略に関する理解を深める。 【特別研究】 末梢神経障害や睡眠障害を中心とした神経疾患の発症機序解明を目的とした研究指導を行う。また、新規治療戦略の提言を行うための研究手法修得を目的とした指導を行い、アカデミア創薬を推進する高度医療人材の養成を目指す。

令和９年度（２次募集）

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科
生命医療科学専攻（博士前期課程）入学願書

令和　　年　　月　　日

和歌山県立医科大学長　様

ふりがな
氏　名

貴学大学院医学薬学総合研究科に入学したいので、所定の書類を添えて出願いたします。

<table>
<tr><td>現　住　所
連　絡　先</td><td colspan="6">〒　　－

TEL（　　）　　－</td></tr>
<tr><td>生　年　月　日</td><td colspan="3">年　　月　　日生</td><td>性　別</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>本　籍　地</td><td colspan="3">都・道・府・県</td><td>外国人
国　籍</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">保　証　人
（父母またはこれに代わる者）</td><td>氏　名</td><td colspan="2"></td><td>年齢</td><td></td><td>続柄　　</td></tr>
<tr><td>現住所</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">志　望　科　目</td><td>領　域</td><td colspan="2">主　科　目</td><td colspan="3">主任教授等又は研究指導教員
署名欄</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>入学に関し諸通知を受ける場所</td><td colspan="6">〒　　－

TEL（　　）　　－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">入学出願資格</td><td>(1)</td><td>(2)</td><td>(3)</td><td>(4)</td><td>(5)</td><td>(6)</td><td>(7)</td><td>(8)</td><td>(9)</td><td>(10)</td><td>(11)</td></tr>
<tr><td>(12)</td><td colspan="10"></td></tr>
<tr><td colspan="11">募集要項の「Ⅳ 入学出願資格」により該当する番号に〇を付けること</td></tr>
</table>

備考　(1)願書記入の際は募集要項を熟読の上、記入漏れのないようにすること。特に志望科目の記入に注意すること。
(2)履歴事項は裏面に記入すること。
(3)出願者は事前に志望科目の主任教授等又は研究指導教員の承諾を得ておくこと。（研究指導教員については、P.13 以降の担当教員欄を参照すること。）
(4)押印は不要

履　　歴　　書

	年　月　日	事　　項
学歴・高等学校卒業以上		
職歴		
免許・資格等		（　　第　　号）
		（　　第　　号）
		（　　第　　号）
賞罰		

上記の通り相違ありません

令和　　年　　月　　日

氏　　名

令和９年度（２次募集）
和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科
生命医療科学専攻（博士前期課程）志望理由書

氏　名	

【志望理由】

令和９年度（２次募集）
和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科
生命医療科学専攻（博士前期課程）入学試験
写　真　票

受験番号	※　前　第　号
領　域	
志望科目	
ふりがな 氏　名	
生年月日	年　月　日生

写　真
縦４cm×横３cm

（注）※印の欄は記入しないこと

切り離さないで提出してください。

令和９年度（２次募集）
和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科
生命医療科学専攻（博士前期課程）入学試験
受　験　票

受験番号	※　前　第　号
領　域	
志望科目	
ふりがな 氏　名	
生年月日	年　月　日生
試 験 日	**令和９年１月８日（金）**
試験時間	専門筆記試験　11:00～12:00 面　接　13:30～16:30 語学試験　17:00～18:30

写　真
縦４cm×横３cm

（注）※印の欄は記入しないこと

研　究　計　画　書

氏　名	

研　究　課　題	

1. 年次計画

2. 大学における主たる研究日

注：　上記項目について、1～2 年の学年毎に記入すること。

本様式に直接記入するか、本様式（Ａ４判）に準じてパソコン等により作成すること。

博 士 前 期 課 程 用

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科

入 学 検 定 料 納 付 書

受 付 番 号	※	受 験 番 号	※

受 験 者　（楷書で書いてください）

住　所

氏 名（フリガナ）

注　意

入学検定料３０，０００円を同封の振込依頼書で振込み、振込みを済ませた後、金融機関窓口で返還された書類のうち、入学検定料振込金受付証明書（C票）を、下欄に貼付してください。（取扱金融機関の収納印があることを、必ず確認してください。）

入学検定料振込金受付証明書（C 票）　貼付欄

（　証明書貼付　）

（注）※欄は記入しないでください。

受　験　許　可　書

氏　　名

生年月日

上記の者が、令和９年度（２次募集）和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科生命医療科学専攻(博士前期課程)の入学試験を受験することを許可します。

令和　　年　　月　　日

和歌山県立医科大学長　様

所在地

機関名

所属長（職・氏名）

令和９年度（２次募集）
和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科
生命医療科学専攻（博士前期課程）出願資格審査申請書

令和　　年　　月　　日

和歌山県立医科大学長　様

（ふりがな）
氏　　名

生年月日　　年　　月　　日生

貴学大学院医学薬学総合研究科　生命医療科学専攻(博士前期課程)の出願資格審査について、所定の書類を添えて申請いたします。

<table>
<tr><td>志望する領域、主科目</td><td colspan="2">領域</td><td colspan="2">主科目</td></tr>
<tr><td rowspan="4">学歴
(高等学校卒業以降から記入)</td><td>昭･平･令　年　月　日</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>昭･平･令　年　月　日</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>昭･平･令　年　月　日</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>昭･平･令　年　月　日</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">資格</td><td>昭･平･令　年　月　日</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>昭･平･令　年　月　日</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="6">職歴
（在職歴のある者は在職中も含めて記入してください。）</td><td colspan="2">期　　間</td><td colspan="2">最終学校卒業後の経歴</td></tr>
<tr><td colspan="2">昭･平･令　年　月～昭･平･令　年　月</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">昭･平･令　年　月～昭･平･令　年　月</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">昭･平･令　年　月～昭･平･令　年　月</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">昭･平･令　年　月～昭･平･令　年　月</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">昭･平･令　年　月～昭･平･令　年　月</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>現住所</td><td colspan="4">〒
Tel(　　)　　―</td></tr>
<tr><td>審査結果通知先</td><td colspan="4">〒
Tel(　　)　　―</td></tr>
<tr><td rowspan="3">入学出願資格</td><td>(1)</td><td>(2)</td><td>(3)</td><td>(4)</td><td>(5)</td><td>(6)</td><td>(7)</td><td>(8)</td><td>(9)</td><td>(10)</td><td>(11)</td></tr>
<tr><td>(12)</td><td colspan="10"></td></tr>
<tr><td colspan="11">募集要項の「Ⅳ 入学出願資格」により該当する番号に○を付けること</td></tr>
</table>

令和９年度（２次募集）

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科（博士前期課程）就業証明書

ふりがな		生　年　月　日
氏　　名		年　　月　　日生
就業期間	年　　月　　日から　　年　　月　　日まで 現在に至る	
就業時間	１日　　時間　・　週　　日勤務	
業務内容		

和歌山県立医科大学長　様

令和　　年　　月　　日

所在地

機関名

代表者名　　印

【大学院博士前期課程入学試験用】

（切り離して納付してください。）

A票（大学院博士前期課程入学試験用）

電信扱

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科　入学検定料

振　込　依　頼　書

手数料振込人負担

ご依頼日	令和　年　月　日	電信扱	手数料						
先方銀行	紀陽銀行　紀三井寺支店	金　額		￥	3	千 0	0	0	円 0
受取人	普通預金　0627227	内訳	通　貨						
	こうりつだいがくほうじん　わかやまけんりついかだいがく								
	公立大学法人　和歌山県立医科大学								
			振　替						
整理番号	←この数字はフリガナの前に打電すること	領収済印又は振替印	取扱金融機関収納印						
B00003	(フリガナ)※		A						
ご依頼人 氏名	※								
ご依頼人 住所	※　電話　（　）		3ヶ所押印						
		送信番号							

※印欄は必ず記入してください。

〔取扱金融機関へのお願い〕
1.　必ず、フリガナの前に整理番号を打電してください。
2.　B･C票は、必ずご依頼人へお返し下さい。

金融機関使用欄

（取扱金融機関保存）

金融機関で切り離して下さい

B票（大学院博士前期課程入学試験用）

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科　入学検定料

振込金(兼手数料)受領書

令和　年　月　日	手数料						
金　額		￥	3	千 0	0	0	円 0
先方銀行	紀陽銀行　紀三井寺支店						
受取人	普通預金　0627227						
	こうりつだいがくほうじん　わかやまけんりついかだいがく						
	公立大学法人　和歌山県立医科大学						
ご依頼人（氏名）	(フリガナ)※						
	※						

※印欄は必ず記入してください

上記金額、正に領収しました。
【取扱金融機関】

取扱金融機関収納印

B

3ヶ所押印

＿＿＿＿＿＿銀行

＿＿＿＿＿＿支店

（取扱金融機関→ご依頼人）　大切に保存してください。

振り込み後自分で切り離してください

C票（大学院博士前期課程入学試験用）

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科　入学検定料

振込金受付証明書

金額	￥	3	千 0	0	0	円 0
先方銀行	紀陽銀行　紀三井寺支店					
受取人	公立大学法人 和歌山県立医科大学					
整理番号	B00003					
フリガナ	※					
氏名	※					

※印欄は必ず記入してください。

公立大学法人
和歌山県立
医科大学
医学薬学総合研究科

取扱金融機関収納印

C

3ヶ所押印

（ご依頼人→大学）貼付用

交通案内

○JR紀三井寺駅より徒歩約10分
○JR和歌山駅より和歌山バス利用
「医大病院」又は「医大病院前」停留所下車
約30分
○南海和歌山市駅より和歌山バス利用
「医大病院前」停留所下車　約40分



